

えひめ薬学生NEWS

奨学生会議を行いました。

11/30(木)18:30～愛媛生協病院 会議室にて、奨学生会議を開催しました。学生1名、職員2名が参加し、愛媛生協病院 二神薬剤師を講師に、「眠剤の薬講座」を行いました。

二神薬剤師から「不眠症の生涯有病率は何人に1人だと思う?」「レム睡眠とノンレム睡眠の割合は?」「眠剤の薬の名前は?」など、質問を投げかけながら、まずは「不眠症」について学習していきました。不眠症の基準や睡眠のメカニズム、効率のいい睡眠など、大学ではあまり学ばなかった事も聞けて、学生は勉強になったようです。

本題に移り、薬がどう体に作用するのか、副作用、禁忌など薬の特徴の詳しい説明がありました。また「薬の名前の特徴は～ゾラム、～ゼパムで終わる薬が多いから覚えやすいよ」と経験を生かしたアドバイスもありました。

学生にとって、大学で習った事の復習にもなり、疾患から考える事で、薬と症状を結びつけて学べたのがとても良かったと思います。

講座後、使用期限が切れた薬剤を使って、「混注」を2種類の薬剤を混ぜ合わせて作りました。実際の注射器を使う作業で、注意が必要でとても難しかったようです。薬剤師の業務の一つ貴重な経験ができました。

事務担当者もやらせてもらいましたが、不器用なのが、すぐわかってしまいました。



※ 混注とは、混合注射のこと。2種類以上の薬剤を混ぜ合わせて作る注射剤のことを混注と言う。混注は、ワクチンや予防接種、点滴などにも用いられている。人の体の中に直接うつものなので、混注を行う際は、細心の注意が必要になる。



薬学生奨学生募集!

愛媛民医連では、薬学部に通う学生への奨学金制度を設けています。奨学生になると、毎月5万円の奨学金の支給の他、他の薬学生や、実際に現場で働く薬剤師との交流の機会がたくさんあります。ぜひ興味のある方はご連絡ください。

